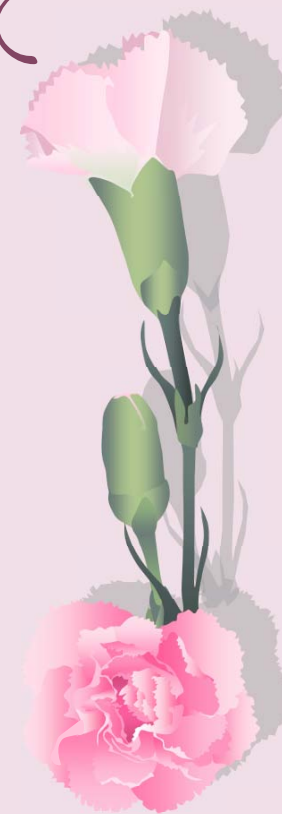


# 在宅での看取りを振り返って

ひだまり訪問看護ステーション

齋木 尚代



# 初めての出会い

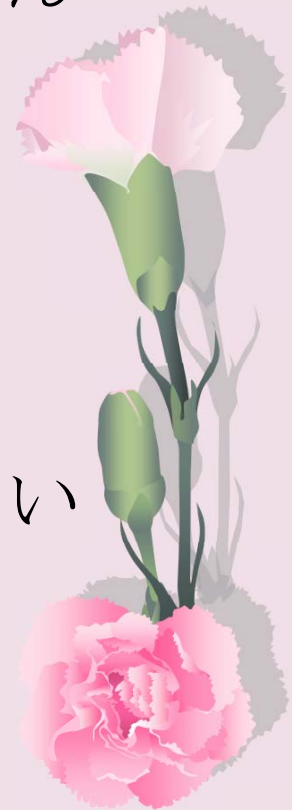
🌸 本人と娘さんの2人暮らし

🌸 2人に病名は告知されているが、余命は娘さんだけに話されている

🌸 2人の思い

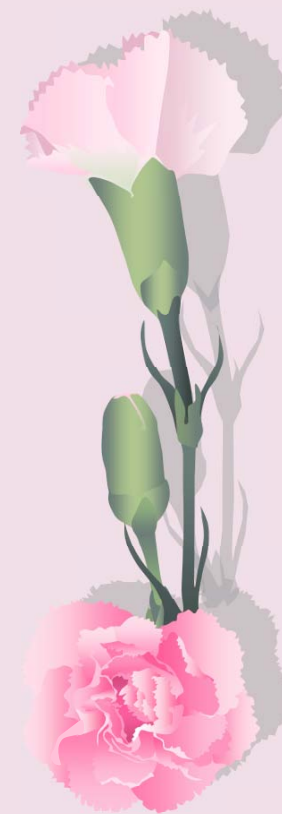
本人：早く家に帰りたい

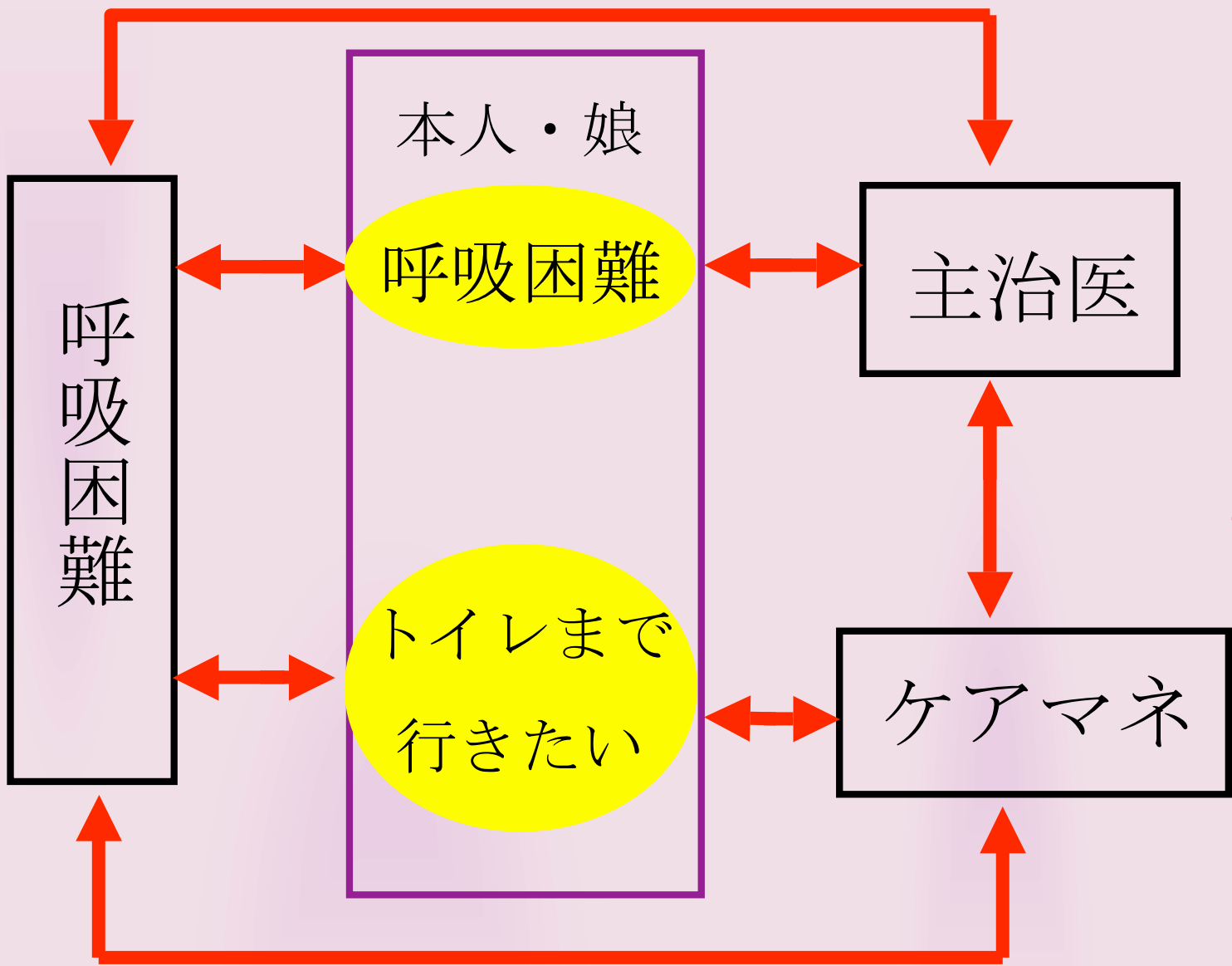
娘さん：1日でも長く家で過ごしてもらいたい



# 不安が大きい頃

- ❁ 2人の不安  
病状がどうなっていくのか
- ❁ 本人の不安  
腹が張るのに毎日便を出してもらえるのか
- ❁ 娘さんの不安  
初めての介護で不安

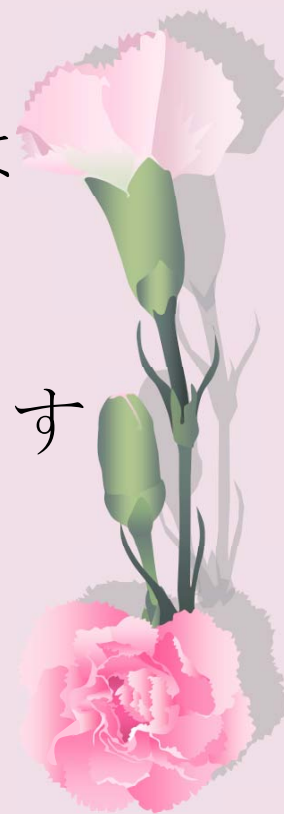




# 現実を受け止められた頃

親子の穏やかな時間を過ごされている様子

- 🌸 日中買い物で1時間位は出かけたり出来、1日が早い。介護をしても今困った事はありません
- 🌸 朝の表情や機嫌の良し悪しで体調がわかります
- 🌸 連休中は、便も出て楽に過ごせました  
足も2回も洗ってやり喜んでいました。



# お別れの1週間

## 娘さんの言葉

- ❁ 母も本当に身体が枯れていくような気がする  
と、言っておりました。死が近づいているの  
はわかるのですね、きっと。
- ❁ その時になったら慌てるかもしれないけれ  
ど、大丈夫だと思います。会わせる人にも  
会ってもらったし、おおよそいろいろと準備  
も出来ていますから
- ❁ このまま眠るように死ぬることが母の願いで  
したので、本当にいい顔をしていてうれしい  
です。

